

事務事業 No./名 称	□サービス部門 消防-05 消防団活動事業 ■支 援 部 門					ザイムスコード及び個別事業名		
						232	消防団活動事業	
主管課	消防総務課 関連課					234	本団・分団助成事業	
分野名	地域安全							
目標 (目標値)	消防団活動の充実							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	20,309千円	21,869千円					
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	20,309千円	21,869千円					
	人員配置数	0.6人	0.6人					
	人 件 費	5,574千円	5,635千円					
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	25,883千円	27,504千円					
	市民1人当 りの経費	147円	156円					
	対象者1人 当りの経費							
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・常備消防隊と消防団との合同訓練の実施 ・サラリーマン団員や市外で就業している団員の増加に伴い、日中に災害が発生した場合の出場人員が限られてしまう						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・各分団に対して、災害時に最低限出場することができる人員の確保について依頼した						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・常備消防隊と消防団との合同訓練の実施						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・合同訓練を実施するにあたり、訓練場所の確保に苦慮しているため、機会を捉えて場所の確保に努めていく						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性		
A	無	訓練の機会を増やすなど検討してい く			A	無	消防団の機械器具の充実を図るとと もに訓練実施内容も充実させたい	
課長名		堀 英彦			部名・部長名		消防本部 畑 光則	